

「播磨経営倶楽部」第2回例会を開催しました！

株式会社 稲田会計事務所

秋真っ盛りの10月13日(土)、播磨経営倶楽部第2回例会を開催しました。今回は経営塾OB12名に加え、オブザーバーとして13名の参加がありました。

冒頭で、前回例会の振り返りを行い、続いて、経営塾OBのカメウチ電装(株)久保様から実践事例を発表していただきました。休憩をはさんで、株式会社一宮電機 秋田逮三社長様に講演していただきました。

前回に引き続き、盛況な例会となり、参加いただいた皆様にとって大変意義のある集いであったと思います。

1. 前回の振り返り

ある経営塾OBは、(株)山弘 三渡社長の講演を拝聴して、社長の事業にかける強い思いが感じられた。経営者たる人は自分の行っていることに、強い信念

と誇りを持ち、熱い思いで取り組んでこそ成功するのだと思った。」と、感想を述べられました。

さらに、中小企業の置かれている状況について、現在、中小企業の7割が赤字と知り、多くの業種にとって、非常に厳しい事業環境であることが理解できた。中小企業円滑化法の期限切れに伴い、今後、中小企業の資金繰りが一層苦しくなることが予想される。そのため、経営改善計画をより実現可能性の高いものに仕上げなくてはならない、と理解した。稲田会計事務所の経営支援プログラム(経営塾)は、事業の見直しを図る良い機会となっている。もっと勉強に励み、経営改善計画にとどまらず、経営戦略計画にまで踏み込んで、自社を分析したい。」



と意気込みを語られました。

2. 事例発表

発表者 カメウチ電装(株) 久保氏



現在、カメウチ電装姫路営業所を任される久保氏が、自動車ディーラーからの転職の経緯、そこから姫路支店を黒字化し、さらには前期決算で過去最高の利益を出すまでに成長させた手法について、発表していただきました。

「言われる前に、自分で考え行動してきた。カメ

「播磨経営倶楽部」第2回例会を開催しました！

株式会社 稲田会計事務所

ウチ電装へ入社して以来、上から何かをやれとは言われたことはない。」他の参加者も、率先して行動することの大切さを改めて感じられたと思います。

3. 経験の承継～経験豊かな創業 経営者から、次世代経営者へ～



今回、講演していただいたのは、株式会社一宮電機 秋田達三社長。ご自身の生い立ちから、電機事業の立ち上げ、社員教育、海外進出等、昭和35年の

創業以来、50年余りの経験を熱く語っていただきました。

特に印象深い話として、一時は国内社員数1,300名を上回る規模であったのが、業績不振により300名まで削減せざるを得なくなったときの心境について、次のように語られました。「お金の無いリストラほど辛いことはない。リストラ対象の社員には、心から謝るほかない。ちまたに溢れるHOWTO本に意味はない。」

リストラに限らず、真剣勝負の場面では、テクニックに頼るべきでない。本音でぶつかっていくことが大切であると語られました。

経営者に必要なもっとも大切な資質は何か、を感じさせられました。

4. 来たれ！播磨の次世代経営者！ 播磨経営倶楽部 会員募集！

今回の例会は平成24年12月開催を予定しております。入会を希望される方、より詳しい説明をお知りになりたい方等々、弊事務所・事務局の小林まで、お気軽に御連絡ください。

〒671-2542 兵庫県宍粟市山崎町船元251-4

株式会社 稲田会計事務所

事務局：常務取締役 小林孝雄

TEL：0790-62-7277

eMail：kobayasi_takao@tkcnf.or.jp